

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度 第9回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）報 告（公開）

- ・中郷保健相談センターの用途変更について
- ・令和4年度 除雪計画について
- ・新市建設計画の変更について
- ・無印良品移動販売の冬期運休について

### （2）協議（公開）

- ・地域活性化の方向性について
- ・小・中学生へのアンケートについて
- ・ずっと大好き中郷未来へのバトン 事業（勝馬基金活用事業） について

### （3）その他（公開）

- ・小布施町視察研修について（結果の共有）

## 3 開催日時

令和4年12月20日（火）午後6時30分から午後8時35分まで

## 4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：竹内靖彦（会長）、高橋京子（副会長）、荒川清尊、漆間和美、高橋達也、竹内昭彦、松原 功、村越勝彦、陸川昇一、陸川陽一（欠席2人）
- ・事務局：中郷区総合事務所 高波所長、内藤次長（総務・地域振興グループ長兼務）、宮尾市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、恩田総務班長、兒玉産業建設業務窓口班長、不破税・市民生活班長、高橋福祉班長（以下、グループ長はG長と表記）  
健康づくり推進課 田中課長

8 発言の内容（要旨）

【桐山班長】

- ・会議の開催を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

- ・会議録確認を陸川昇一委員と陸川陽一委員に依頼。
- ・報告事項（1）中郷保健相談センターの用途変更について、健康づくり推進課に説明を求める。

【健康づくり推進課 田中課長】

資料を基に説明。9月に用途変更するということで説明したが、庁内に照会したところ、新たに建築基準法の基準を満たす必要が生じ、改めて協議した結果、現状の保健相談センターとして維持していくことになった。

【高橋（達）委員】

前回の説明にあった「広く市民の方から利用いただけるスペース」はどうか。

【健康づくり推進課 田中課長】

これまでどおり利用いただける。イベント等にも使用できる。

【高橋（達）委員】

事前にしっかり調査して進めていただきたい。

**【竹内（靖）会長】**

事前に分かって良かったが、しっかり確認していただきたい。ここで、田中課長は退席となる。

報告事項（2）令和4年度除雪計画について、事務局に説明を求める。

**【兒玉班長】**

資料を基に説明。11月29日に中郷区町内会長連絡会議で説明し理解いただいた。昨年度と大きな変更はない。消融雪設備の異常等については、町内会長を通じて連絡をいただくことになっている。

**【竹内（靖）会長】**

基本方針に記載された市民の自助・共助について、中郷区では高齢化の影響もあり希薄になっている。80歳を過ぎた方が、自ら歩道橋の除雪をし、通学路の確保をしていただいている例もある。それを見た近所の方が除雪機で雪を飛ばしている。この状況は、20年も30年も続いているが、県や国にもその実態を伝える必要がある。いつまでも高齢の方に頼ることができないことは、総合事務所にも認識していただき、今後の改善策を一緒に検討していかなければならない。

**【陸川（昇）委員】**

藤沢の県道の歩道除雪が遅い。通学路の安全のため、早めの対応を望む。

**【陸川（陽）委員】**

資料中、中郷区を含め雪の多い地区の除雪率が低いのはなぜか。

**【兒玉班長】**

地域内の市道に対し、車道除雪対象の市道の割合が低いためであり、中郷区においては、消雪パイプ設置市道が長いことも影響がある。

**【竹内（靖）会長】**

報告事項（3）新市建設計画の変更について、事務局に説明を求める。

**【桐山班長】**

令和4年11月10日付け上企第37637-24号、新市建設計画の変更について（通知）を説明。今後、パブリックコメント、県との法定の協議を経て、令和

5年上越市議会3月定例会に議案を提出する予定である。

**【竹内（靖）会長】**

質疑はないか。（なし）

報告事項（4）無印良品移動販売の冬期運休について、事務局に説明を求める。

**【桐山班長】**

（資料なし）無印良品からの申し出により、1月、2月の移動販売を休止することになった。また、板橋のみ3月まで休止となる。

**【竹内（靖）会長】**

無印良品の移動販売は、開始当初、商工会とも議論を交わした経緯があるが、思ったほどの需要がなかったことも大きい。需要に関わらず、買い物支援の観点から年間通じて実施していただきたい旨を伝えていただきたい。中郷区の市民にも十分な周知をお願いする。

協議に移る。（1）地域活性化の方向性について、事務局に説明を求める。

**【桐山班長】**

資料を基に説明。4月に地域自治推進プロジェクトの説明の中で、地域活性化の方向性の作成を依頼したが、中郷区においては、全住民対象のアンケートを実施し、地域独自の予算への提案事業を検討してきたことから、地域活性化の方向性が定まってきたと考え、事務局案を作成した。

**【竹内（靖）会長】**

中郷区地域協議会は、私が会長を預かる前から「ずっと大好き中郷」や「いつまでも住み続けたい」という言葉が引き継がれてきている。これからも、この言葉を引き継いで活動することが未来につながる。これをキャッチフレーズとして、もっと地域に浸透していくことが大事になる。事務局案でよいと考えるが、委員の意見はないか。

**【高橋（達）委員】**

事前資料として配布があったので、私案を考えてきた。最初の文言は、事務局案でよい。構成要素について、協議してまとめることとしたい。いろいろ考えると幅広くなってしまう。スケジュール的にはどう進むか。

**【桐山班長】**

市が示す共通事項としては、今年度中に検討に着手していただくことのみであり、完成の期限は設けていない。

**【竹内（靖）会長】**

中郷区の地域活性化の方向性については、大枠となる最初の文言を本日決定し、構成要素については、次回、各委員の案を持ち寄り協議していくスケジュールとする。

**【村越委員】**

住民アンケートの結果では、産業・観光分野の課題も上位にあったことから、構成要素に産業・観光分野も入れても良いのではないか。

**【竹内（昭）委員】**

大きく括ると事務局案になると思うが、自分なりにもう少し考えてみたい。

**【竹内（靖）会長】**

この件については、今日はここまでとし、次回に継続することにする。

協議（2）小・中学生へのアンケートについて、これまでの協議の中で、対象範囲をはっきり決めていなかったが、小学校1年生から中学校3年生までの全小中学生を対象にすることにしたい。事務局案の説明の前に、先日開催された教育・文化チーム分科会の報告を、リーダーの高橋（達）委員から願う。

**【高橋（達）委員】**

12月1日に公民館事業で行われた座談会に出席し、そこで出された参加者の意見を踏まえ、12月13日午後6時から教育・文化チームで意見交換を行った。共通の認識としては、子どもの居場所について、分科会としてももう少し深掘りが必要とのこととなった。部活動の教育委員会の対応と地域移行の話題についても、委員間で情報共有した。今年度の分科会は、これをもって最後とする予定である。

**【竹内（靖）会長】**

分科会のメンバーである、高橋（京）副会長、陸川（陽）委員から補足等を願う。

**【高橋（京）副会長】**

座談会で出た意見は様々であり、少し整理し、地域協議会で取り組む内容と他に任せる内容を区分けしながら、前向きな方向で進めていきたい。

**【陸川（陽）委員】**

子どもの「居場所」というものを突き詰めて進められるとよいと感じた。

**【竹内（靖）会長】**

私も座談会に参加し進行役を務めたが、参加者からは、「意見が言えてよかった」、「このような会をもっと開いてほしい」など、好意的な感想を多く聞いた。地域に対する思いや意見を、みんなで共有しながら進めていくことが大事になる。

それでは、小中学生へのアンケートについて、事務局案の説明を求める。

**【津島主事】**

小学生版、中学生版のアンケートについて、資料を基に説明。6月に実施した15歳以上を対象にしたアンケートの設問にならって作成し、言葉遣いや言い回しを小中学生向けに工夫した。

**【竹内（靖）会長】**

小中学生からアンケートを取るにあたって、少し丁寧に進めたい。学校との連携も大事になってくる。協議に入る前に、学校の考え方等、事務局に情報があれば教えてほしい。

**【内藤次長】**

本日、小中学校長との会議があったため、アンケートの事務局案を見ていただいた。アンケートの実施方法については、地域協議会委員が学校に来て、直接子どもたちに説明していただければ、必要な時間を確保するとの話をいただいている。内容については、子どもたちに、目的をしっかりと説明してほしいとのこと。低学年の子どもには補助が必要と考えられるので、教員も協力するとのこと。また、保護者にもアンケートを実施することを事前にお知らせすることが必要ではないかとの意見があった。結果についても、子どもたちに戻していただきたいとの意見があった。世帯構成の設問は、人権的な観点から除いた方がよいとのアドバイスをいただいた。

**【竹内（靖）会長】**

実施方法について、地域協議会委員と総合事務所職員とで、学校に出向き、直接子どもたちに説明する形で実施することとする。時期については、1月中旬から下旬で、学校の都合に合わせる。その他、次長から説明のあった学校からのアドバイスを生かして実施する。

**【陸川（陽）委員】**

設問は、小学校低学年には難しいと思うが、シンプルな設問なので事務局案でよいと思う。

**【村越委員】**

学校で地域協議会委員等が対応することになれば、事務局案のままでも大丈夫と思う。中学生には、「10年後、中郷で暮らしたいか」とか、「家庭内で、10年後、残ってほしいと言われているか」なども聞いてみたい。

**【松原委員】**

事務局案でよい。学校に行く説明者は、なるべく小中学生の年齢に近いほうが良いのではないかな。

**【高橋（達）委員】**

学校からの意見にあった、保護者への事前連絡は大切である。持ち帰らないと回答できない場合も想定しなければいけない。中学生への設問で、「10年後、どんな中郷区」との問いは回答が難しい。中学生は、今に精一杯であることから、「10年後、どんな人になっているか」など、自分自身に関わる内容を問う方が答え易いのではないかな。

**【竹内（靖）会長】**

アンケートは、持ち帰りしないことで対応したい。「10年後の中郷区」の設問について、意見はないかな。

**【漆間委員】**

日ごろ、小中学生と接する機会があるが、私たち世代と考え方が全く違うし、今を精一杯生きている感じが強い。悩みごとも多く、先のことはなかなか考えられないのではないかなと感じる。高橋（達）委員の言われる内容の質問の方が答え易いと思う。設問中、「例えば」として記載された回答例が多すぎる。

**【松原委員】**

「例え」が多いと回答を誘導しているようになってしまう。「10年後」の問いは、いらぬ。中学生は、どこの高校に行くかなど、目の前のことで頭がいっぱいだと思う。

**【高橋（達）委員】**

今の中学生は、勉強や部活動などで、とにかく日々忙しい。中郷区の未来ま

で考える余裕がないと思う。10年後について回答させることは、少し重いのではないか。中には考えられる子もいるとは思いますが、どんな自分になりたいかなど、将来の夢を聞くことでよいのではないか。

**【高橋（京）委員】**

「例えば」は、なくてよい。10年後の自分自身を問うのは、このアンケートで聞きたい趣旨が、少し異なる設問になってしまう。

**【竹内（靖）会長】**

皆さんの意見をお聞きして、「10年後の中郷区」を問う文言は、「将来、どんな地域に住みたいと思いますか」。これでどうでしょう。「例えば」については、出来るだけ記載しないこととする。

**【津島主事】**

事務局案は、学校に出向いて対応することを想定していないで作成したため、回答例は、全て削除しても良いと考える。

**【竹内（靖）会長】**

小中学生へのアンケートについては、今回の意見を整理して修正することにする。学校との日程調整は、事務局にお願いする。最終的なものは、事務局と会長、副会長で調整する。

次に、協議(3)ずっと大好き中郷未来へのバトン事業（勝馬基金活用事業）について、に移る。

この事業については、地域協議会で長年協議してきた内容であり、地域の皆さんにも報告が必要と考える。3月に実施する地域協議会の活動報告会の中でも報告していきたい。

2月11日に中郷区まちづくり振興会が主催で開催される雪ん子まつりの会場が、中郷小学校で検討されていたことから、さとまる学校と協働での実施となった。このイベントで、夕日ヶ丘整備のPRをする予定にしている。小中学校には、子どもたちによる未来の中郷区へ向けたメッセージ動画の撮影協力を依頼している。このイベントには、中郷区内の若手も興味を持って、スタッフとして参加している。地域協議会委員からもスタッフとして協力をお願いしたい。3月の活動報告会は、改めて、資料作成と併せて協議したい。

委員からの意見等ないか。(なし)

協議は、以上で終了とする。その他に移る。

11月18日に小布施町を視察した。参加委員からの感想を求める。

**【竹内（昭）委員】**

巡回バスについては、観光目的のバス運行だったが、狭い道まで通っている状況がみられた。スラックラインが手軽にできる施設があり、スポーツに簡単に触れられる環境や景観の整備もいいなと思った。名産の栗や葛飾北斎を、まちの人みんなで盛り上げていることに感銘を受けた。

**【桐山班長】**

研修目的のひとつ、中郷区におけるコミュニティバスのあるべき姿の参考になる部分については、小布施町の巡回バスが100%観光客の利用であったため、残念ながら直接的に参考になる部分はなかった。また、目的のふたつ目、まちづくりについては、小布施町職員との対話で参考になる話を聞くことができた。交通弱者への対応については、いろいろな試行を繰り返しているが、対応に苦慮している様子がうかがえた。また、まちづくり委員や若者会議の活動については、今後の中郷区での活動にも生かせる内容があった。

**【竹内（靖）会長】**

以上で、本日の会議を終了する。

次回の地域協議会は、1月12日（木）18時30分からとする。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL:0255-74-2411 (内線165)

E-mail:nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。